

## 環境基本問題懇談会の今後の展開について

### 1 今後の進め方（案）

#### 第6回でのとりまとめ

- ・第6回会合で、これまでの議論で提示された論点を取りまとめ。
- ・さらに、これら論点を以下に大まかに分類・整理。
  - ア さらに議論を深めるもの
  - イ 次期環境基本計画策定検討に引き継ぐもの
  - ウ 来年度の予算、法制等重点事項で取り組むもの

#### その後の進め方

- ・第6回のとりまとめで、アに整理された論点については、さらに焦点を絞った議論を行い、検討を深める。
- ・その際には、議題に応じ、ゲストスピーカーの招請、臨時委員の参加などを検討し、より実のある議論を進める。
- ・概ね年内を目途に最終的な取りまとめを行う。

## 2 論点アのイメージ

本懇談会におけるこれまでの議論で出された論点例からピックアップ

持続可能性と環境保全

環境と社会、文化との関わり

企業、NPO、市民の社会的責任

環境権の考え方

環境問題への取組に関する国、地方公共団体、民間団体の役割

企業、NPO等の自発的な活動の位置づけ

自主的取組を促進する「枠組み」化

コスト負担のルール

説明責任、情報開示の仕組み

科学的不確実性と環境対策との関係

予防的な取組の導入

情報の共有、公開

政策立案や事業への国民、企業などの参画

事前統制から事後的統制へ（パフォーマンス評価へ）

環境基準など公害系対策への生態系、地球環境問題の視点の盛り込みの促進

環境に関わる科学、教育などの担い手の育成、システムの整備

地球公共財に対する地球全体としての取組